

第105回東南アジア学会研究大会 (筑波大学・対面を重視したハイフレックス)
2023年12月9日(土)

2023/12/4更新

本大会は、筑波大学人文社会系との共催で実施します。

	【A会場】2B411教室 (Zoom Room 1)	【B会場】2B206・2B207教室 (Zoom Room 2)	【C会場】2B208・2B209教室 (Zoom Room 3)	【ポスター会場】
(9:15)	開室			
9:30-9:40	開会の辞：鈴木伸隆(会場校・筑波大学)			
	【自由研究発表第1セッション】 司会：鈴木佑記(国士館大学)	【自由研究発表第2セッション】 司会：松岡昌和(大月短期大学)	【自由研究発表第3セッション】 司会：野平宗弘(東京外国語大学)	OpenSEA ポスター発表 A班: 2階 B班: 3階
9:45-10:20	タイのスーフイズム: カーディリー教団の系譜とネットワーク 柴山 信二郎 帝京平成大学	中国はASEAN統合に及ぼす影響を与えたか 吉野 文雄 拓殖大学	ベトナム語の関係節におけるマーカについて: "ma"の出現条件を中心に Dinh Thi Kim Cuong 筑波大学・博士課程	
10:25-11:00	現代クルーパーと北タイ村落の社会関係 山田 実季 京都大学・博士課程	イギリス北ボルネオ会社のコーポレート・ガバナンス1881-1953: 経営危機克服のメカニズムを中心として 都築 一子 NPOシニアボランティア経験を活かす会	ベトナム南中部山地ラグライ人の慣習実践におけるモラルリティと審美性 康 陽球 国立民族学博物館・外来研究員	
11:05-11:40	タイ国カトリック信徒共同体を中心とした「知」の形成についての考察: チェンマイ県、ジョムトーン郡、メーボーン村における宗教/日常実践を事例に 木戸 七彩 京都大学・博士課程	「科学の大東亜共栄圏」の前景化: 南方科学委員会の設立まで 小林 和夫 創価大学文学部	19世紀後半、ベトナム阮朝による対ヨーロッパ使節派遣の再検討 多賀 良寛 東北学院大学	
11:40-13:00	昼食休憩			
	【A会場】2B411教室 (Zoom Room 1)	【B会場】2B206・2B207教室 (Zoom Room 2)	【C会場】2B208・2B209教室 (Zoom Room 3)	昼食休憩の時間帯には 発表者による説明あり
	【パネル1】「脱農化」する東南アジア	【自由研究発表第4セッション】 司会：工藤裕子(東洋文庫・研究員)	【自由研究発表第5セッション】 司会：今村真央(山形大学)	
13:00-13:35	代表: 松田 正彦 立命館大学	ベクの認識論、レッダの存在論: 東インドネシア、エンデにおける意図と規約 中川 敏 大阪大学・名誉教授	国民国家時代のインド洋海域世界: マレーシアのインド系ムスリム移民を事例に 中島 咲寧 京都大学・博士課程	
13:40-14:15		20世紀後半ジャワにおける古い知識の変容: プリンボンの出版に注目して 前田 彩希 神戸大学・修士課程	移動後のカテゴリー変更の試み: クーデター後にミャンマーからタイへ移動した人々に着目して 渡辺 彩加 京都大学・博士課程	
14:20-14:55		アフマド・ダフランと初期ムハマディヤ: 『人間の群』の背景を探る 小林 寧子	流浪の立法者たち: タイ下院議員の党籍移動、1979-2001年 片岡 樹 京都大学	
	【A会場】2B411教室 (Zoom Room 4)			
15:00-15:10	受付：参加者ログイン後、名簿と照会のうえ、入室許可手続き			
15:10-16:10	会員総会			
	【A会場】2B411教室 (Zoom Room 5)			
16:20-17:20	OpenSEA ライトニングトーク(LT) 司会：池田 一人(大阪大学) ①阿保秀和、木内さゆみ、ガルビン紅蓮、高橋映彩、②菅原一花、③堀口愛花、④山本諒太、 ⑤足達洋樹、⑥浦野里彩、⑦三宅千夏、⑧林貴哉、⑨嵯峨敦仁、⑩山崎涉			
17:30-18:30	第21回東南アジア史学会賞授賞式・受賞記念講演 小田なら(東京外国語大学)『伝統医学が創られるとき：ベトナム医療政策史』(京都大学学術出版会、2022年3月)			
	【A会場】2階受付横学生控室			
18:45-19:45	大会交流会			

2023年12月10日(日)

	【A会場】2B411教室 (Zoom Room 1)	【B会場】2B206・2B207教室 (Zoom Room 2)	【C会場】2B208・2B209教室 (Zoom Room 3)	【ポスター会場】
(9:15)	開室			
	【パネル2】東南アジアの現代アート: パフォーマンスの実践を対象とする予備的考察 代表: 福岡 まどか 大阪大学	【パネル3】「つながりで貧困を生き抜く社会」からどこへ: 政治体制と社会の変容をめぐるフィリピン、インド、メキシコの視点 代表: 吉澤 あすな 京都大学・研究員	【パネル4】オランダ東インド会社の「契約」から見る東南アジア 代表: 大東 敬典 東京大学	OenSEA ポスター発表 A班: 3階 B班: 2階
9:30-11:25				
11:25-13:00	昼食休憩			
	【A会場】2B411教室 (Zoom Room 5)			
(12:45)	開室(一般公開?)			
13:00-17:00	大会シンポジウム「高校における探究学習と東南アジア」 <企画者・趣旨説明> ・菅原由美(大阪大学人文学研究科) <探究学習と高大接続> ・森朋子(桐蔭横浜大学学長) 「探究活動の意味: 社会の変化に対応する学校教育を目指して」 <現場事例・高校> ・秋場聡(宮城県仙台二華高等学校教諭) 「事例報告「世界の水問題解決への取り組み」: カンボジア、ベトナムにおけるフィールドワークを活用した課題研究」	・北山夏季(関東国際高校教諭) 「気づきから探究へ: ベトナム語を学ぶ高校生の取り組みから」 <現場事例・大学> ・島上宗子(愛媛大学社会共創学部) 「日本・インドネシア学生農村実習を通じた高大連携の試み」 ・向正樹(同志社大学グローバル地域文化学部) 「探究型の時代の教養世界史: 私学グローバル系学部での試み」		昼食休憩の時間帯には 発表者による説明あり
17:00-17:10	開会の辞：長津 一史(東南アジア学会会長・東洋大学)			

第105回東南アジア学会研究大会 OpenSEA

ポスター発表 一覧

A班(12/9は2階、12/10は3階)

1	内堀 陽弘(高野山真言宗 一般僧侶) 日本仏画のタイにおける解釈と思想: 高山寺旧蔵阿弥陀鈎召図類似仏画を一例に
2	足達 洋樹(神戸大学大学院国際文化学研究所 修士課程) フィリピン・ルソン島北部における民俗工芸の価値・技術継承: 修士論文に向けた予備調査後の中間報告
3	林 貴哉(武庫川女子大学) ベトナムの国旗とロゴ: 在日ベトナム人支援団体の事例から
4	徳安 祐子(九州大学医学歴史館 学術研究員) アジアの人びととの共生を目指す商店街の試み
5	木村 友里愛(宮城県仙台二華高等学校) カンボジア農村部における学校外教育の現状と生徒の成績向上への方策研究
6	高橋 怜楽(宮城県仙台二華高等学校) カンボジア農村部の小学校における算数教育の質向上にむけて
7	阿保 秀和、木内 さゆみ、ガルビン 紅愛、高橋 咲彩(宮城県仙台二華高等学校) カンボジア・トンレサップ湖における雨水活用の現状と浄水器の設置についての検討
8	山崎 渉(京都大学東南アジア地域研究研究所) 東南アジアで流行する動物感染症
9	礒崎 敦仁(慶應義塾大学) 冷戦期におけるベトナムのインバウンド
10	王 雨芊(東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻 博士課程) マレーシア華人社会への「一帯一路」政策の影響
11	浦野 里彩(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 修士課程) 「幸せ」の言語間差異と新たな「幸せ」類型の検討: 世界価値観調査を事例とした言語の国際比較

B班(12/9は3階、12/10は2階)

1	張 雅(名古屋大学人文学研究科文化動態学専攻 博士研究員) 南洋に派遣された女性作家と被占領地の女性たちとの交流
2	シャ サン(東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻 博士課程) 植民地香港の伝染病と社会変容: 1894年腺ペスト流行を中心に
3	菅原 一花(東京大学文学部宗教学宗教学専修 学部生) 仏領期ベトナムにおける仏教復興運動への中国の影響
4	山本 諒太(東洋大学社会学部文化システム学科 学部生) 現代を生きるマレー人とジャウィ文字
5	岩井 華代(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 博士前期課程) タイ西北部における戦争の時代の記憶: タイ日友好記念館の事例から
6	三宅 千夏(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 博士後期課程) ラオスの長距離バスを支える二者間関係に基づいた親族関係
7	坂井 美咲(東洋大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士前期課程) インドネシア・ジョグジャカルタのワリア-ネットワーク構築にみる自己定位の技法
8	大村 優介(東京大学大学院総合文化研究科 博士課程) ラオス都市部における「カトゥーイ」カテゴリーをめぐる諸相の人類学的研究: 男性として男性を欲望する人々との関わりに注目した部分的な素描
9	高橋 優月(大阪大学外国学部外国語学科インドネシア語専攻 学部生) インドネシアの大学生が参加するコミュニティの変化: NGOからコミュニタスへ
10	堀口 愛花(大阪大学外国学部外国語学科インドネシア語専攻 学部生) 法にみるインドネシアにおける婚姻に関する価値観の変化
11	CHAE JISU(チェ ジス)(大阪大学外国学部外国語学科インドネシア語専攻 学部生) インドネシアの芸術家集団アート・コレクティブの目指す社会変革

ライトニングトーク(LT) 発表者一覧

1	阿保秀和、木内さゆみ、ガルビン紅愛、高橋咲彩(宮城県仙台二華高等学校) カンボジア・トンレサップ湖における雨水活用の現状と浄水器の設置についての検討
2	菅原 一花(東京大学文学部宗教学宗教学専修 学部生) 仏領期ベトナムにおける仏教復興運動への中国の影響
3	堀口 愛花(大阪大学外国学部外国語学科インドネシア語専攻 学部生) 法にみるインドネシアにおける婚姻に関する価値観の変化
4	山本 諒太(東洋大学社会学部文化システム学科 学部生) 現代を生きるマレー人とジャウィ文字
5	足達 洋樹(神戸大学大学院国際文化学研究所 修士課程) フィリピン・ルソン島北部における民俗工芸の価値・技術継承: 修士論文に向けた予備調査後の中間報告
6	浦野 里彩(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 修士課程) 「幸せ」の言語間差異と新たな「幸せ」類型の検討: 世界価値観調査を事例とした言語の国際比較
7	三宅 千夏(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 博士後期課程) ラオスの長距離バスを支える二者間関係に基づいた親族関係
8	林 貴哉(武庫川女子大学) ベトナムの国旗とロゴ: 在日ベトナム人支援団体の事例から
9	礒崎 敦仁(慶應義塾大学) 冷戦期におけるベトナムのインバウンド
10	山崎 渉(京都大学東南アジア地域研究研究所) 東南アジアで流行する動物感染症